

4月27日に全員協議会を開催し、今後の留萌市立病院の課題についての意見交換を行いました。

議員から次のような意見が出ました。

- 「病院の待ち時間の改善について」
- 「医療事務作業補助者について」
- 「近隣地域からの負担金について」
- 「医療事務作業補助者及び電子カルテについて」等々

昨年度、人工透析機器の新たな導入により、受け入れ可能人数の増加を果たせたこと、今年度は地域包括ケア病棟の10月稼働をめざして、病棟再編を推し進めていることなどを説明し、また、大きな課題である医師をはじめとする医療専門職の人材確保と養成については、積極的に病院見学や実習を受け入れていることをご報告しました。人口減少と少子高齢化で地域医療が窮地に立たされるなか、救急医療・周産期医療・小児医療をはじめとする生活になくしてはならない医療の維持のため、継続して努力することお約束し、ご協力をお願いしました。今年度の全員協議会も例年に増して市立病院の課題・将来構想などを話し合う良い懇談となりました。市民並びに議員の皆様から、応援メッセージとともにいただいた課題が改善できるよう、病院全体で努力する所存です。



留萌市立病院 院長
村松 博士

5月・6月の予定

- 16日(水) ・公共施設に関する調査研究会議
- 17日(木) ・JR留萌線対策会議
- 21日(月) ・各派代表者会議
・議員定数に関する特別委員会小委員会
- 22日(火) ・第1常任委員会
- 24日(木) ・第2常任委員会
- 30日(水) ・全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 31日(木) ・議員定数に関する特別委員会
- 6月1日(金) ・議会運営委員会
- 6月5日(火) ・第2回定例会

議員定数に関する特別委員会が平成29年9月に設置され「アンケート調査」と「市民と議会との意見交換会」の実施について決定しました。アンケートは留萌市に住民登録している満18歳以上の留萌市民の中から無作為に1000人を選んで送付しました。道内の人口類似市の状況や留萌市議会の活動状況などを参考としてもらい「留萌市議会の議員定数16人。あなたはこの数をどのように考えますか」という設問などに答えてもらい、特別委員会での議論の参考とします。

議員定数に関するアンケート調査結果

